

北上川浄水場

あらまし

北上市の水道の歴史は旧黒沢尻町時代にさかのぼり、昭和28年町民の保健衛生の向上、防火対策そして商工業の発展をめざし、和賀川を水源とする上水道の整備に着手したことに始まります。

高度経済成長の幕開けとなる昭和38年～昭和41年にかけて、農業と工業の調和のとれたまちづくりを行うため企業誘致が図られ都市環境が変化し、水の需要量も増加したため、これに対応するため第1次拡張事業が行われました。

また、昭和46年～昭和50年には、第2次拡張事業で二子町等其他地域への給水が開始されました。

その後も企業進出などで人口は一層の伸びを示し、工業用水や生活用水等も増大したことから、昭和51年に水道未加入地域の解消、小規模簡易水道の統合、及び環境衛生の向上と誘致企業に対して安定した工業用水を供給するため、岩手県と北上市が共同で北上川を水源とする第3次拡張事業を行いました。これは、取水施設、管理棟、排水処理施設等を含む北上川浄水場の建設が主なもので、昭和53年7月に完成し現在に至っています。(給水開始は工業用水が昭和53年5月、上水道が昭和53年7月)



管理棟

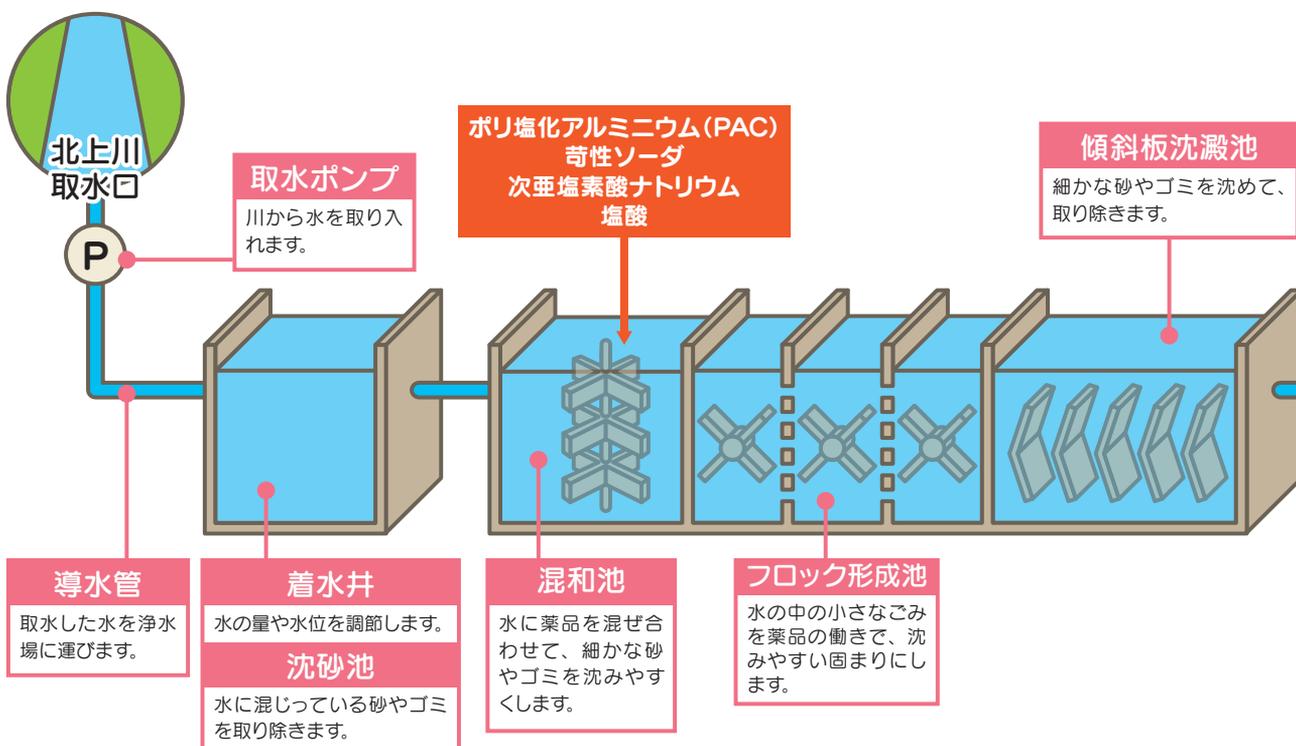


沈澱池

浄水施設

北上川浄水場は北上川を水源とし、生活用水である上水道と、製造業などの産業活動に使われる工業用水の処理を行っています。上水道の浄水処理の方法としては、急速ろ過方式を採用しています。

浄水場では、皆さんが「安心して飲む水」「安心して生産に使用できる水」を造るため「安全」を最大の目標として、定期的に水質検査をするなど昼夜を通して監視をしています。



主要諸元

名称	北上川浄水場		
種別	上水道	工業用水道	
水源	北上川		
取水	取水ポンプ	4台 φ300 × 110kW	
導水	導水管	DCIP φ600mm, L=419m	
浄水	方式	急速ろ過	—
	沈砂池	1池	
	混和池	1池	1池
	傾斜板沈澱池	2池	2池
	急速ろ過池	8池	—
	滅菌井	1池	—
	浄水池	2池	—
	洗浄排水池	2池	
	汚泥池	2池	
	濃縮槽	1槽	
	汚泥脱水機	1基	
	管理棟	1棟	
	送水	送水ポンプ	3台 φ200 × 75kW
送水管		DCIP φ350mm L=696m	DCIP φ300mm L=349m — —
配水	配水池	2ヶ所	
		高区配水池	低区配水池 場内
供用開始	昭和53年7月		昭和53年5月



北上川取水口



高区配水池



低区配水池

施設能力

	上水道	工業用水道
計画最大取水量	20,000m ³ /日	20,000m ³ /日
計画最大給水量	18,200m ³ /日	18,600m ³ /日

